

キャラクター名
卯月トキ・キュウ

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス モルフェウス		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	小学生/UGNチルドレン
	オプション		年齢	性別		
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	33%	
出自	経験		邂逅			

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	9
精神	2	1	0			3	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4	10	交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1	1	調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
陰鬱な呼吸	R C	3r+24		3		B+DE シーン(選択) 憎悪付与 装甲無視
悲痛な溜息	R C	5r+26		3		
揺籃の吸気	R C	3r+24		-		B+C ドッジを行う

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
RCコンバータ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
複製体	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	[5]						
効果:								
オリジン:レジェンド	5	3						
効果:								
浄玻璃の鏡	★	2						
効果:								
赤:憎悪の炎	★	3						
効果:								
貪る顎	1							
効果:								
影絵の兵士	1	1						
効果:								
ハードワイヤード	5							
効果:								
セキュリティカット	★							
効果:								
軽功	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「……卯月、トキ」『この子の名だ。私のことはキュウとでも呼んでくれ。どうかよろしく頼む』

一応オーヴァードの少女と、それに共生している寄生型レネゲイドビーイング。キュウは普段はトキの影に隠れており、誰かと話したり戦闘行為を行うときには成人男性の影の形をとって現れる。戦闘に特化したアヴァターほどの力は持たないが、理性的なコミュニケーション能力と様々な事柄に対処する知識や技術、そしてトキを影の中に一時的に退避させる能力を持つ。

彼女らは半年前、FHに追われている所をUGNに自発的に保護されにた。現在は小学生として生活しつつ、チルドレンとしての活動にも従事している。キュウはトキを危険な目に遭わせたくないようで、大人しいが意外と行動的なトキの行動に、日々無い胃を痛ませている。

『なあトキ、UGNに入ったからと言って戦場に行く必要なんて……』『……行く』

トキはオーヴァードではあるが、オーヴァードとしての能力はほほないに等しく、実質ワーディング耐性を持っているだけの一般人。彼女の特殊性は、その呼吸にオーヴァードを引き寄せる性質がある、というものだ。

彼女の呼吸はレネゲイドウィルス死滅させ、それによってオーヴァードに“脅威”として認識されてしまう。現在は訓練の甲斐あって、普段の生活に困らない程度には呼吸を制御できるようになった。他者からジャームの注意を逸らすことに繋がるこの体質を利用して、彼女は“デコイ”として戦場に立つのだ。当然キュウは全力で反対している。

『トキ、どうか私を許してくれ、身勝手な私を……』『キュウ……』

トキは半年前にUGNに逃げ込むまで、FHの研究所で被検体として扱われていた。研究の目的はトキの呼吸の原理を解明することで、広範囲のレネゲイドウィルスを集中させ強力なジャームを創り出すことであり、その研究を主導していたセルリーダーこそ、“過呼吸”(プレスオーバー)の名を持つFHエージェントであったキュウであった。事故で妻と娘を失ったことで理性を失い、力に魅入られていた彼を正気に戻したのが、実験体の少女の瞳だった。或いは彼女の呼吸に当てられてウィルスが沈静化したためか、兎に角彼は半年前にトキを連れて研究所からの脱走を試み……降り注ぐ銃弾からトキを庇って死亡した。